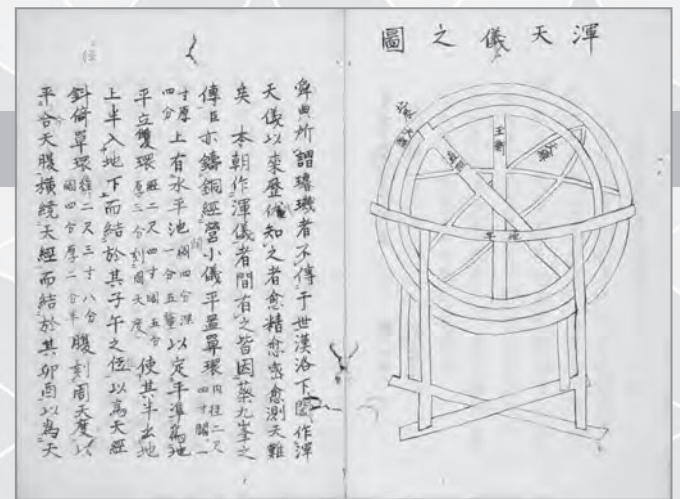


令和3年度 筑波大学附属図書館特別展

時間を数えて記録することは、人類の歴史において、政治的・社会的・文化的に重要な営為です。本特別展では、筑波大学附属図書館所蔵の貴重図書・和装古書を通じ、古代に始まる時を刻む営為の成立から、現代日本における元号「令和」に至る紀年・暦法をめぐる文化を紹介し、私たちが生活のなかで時を数む意味を再考します。

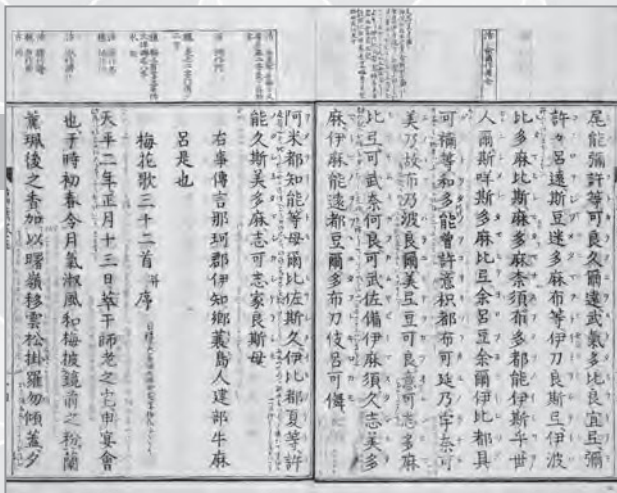
展示では、貴重図書に指定される典籍のみならず、これまでに資料的価値があまり知られていない和装古書・一般図書も厳選して紹介・発信します。

I. 日本の元号と暦



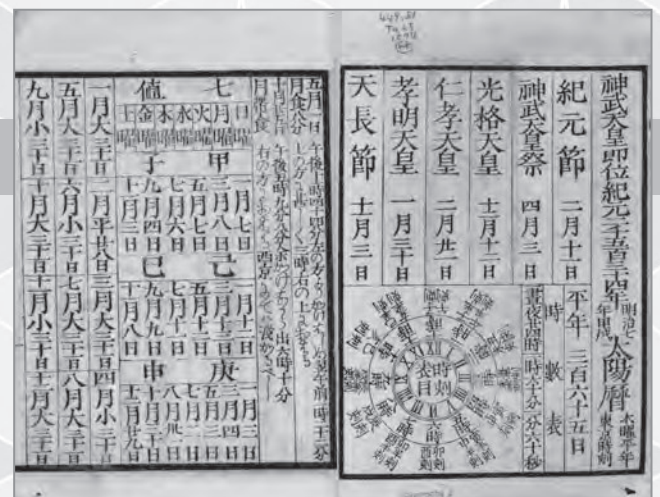
『貞享暦』巻三

II. 明治から令和へ



『万葉和歌集』巻第五

III. 神武天皇即位紀元の周辺



『明治七年甲戌太陽略歴』